

問9 本調査またはリハビリテーションについてのご意見	
246	脳梗塞発症時は家族みんながショックでお先が真っ暗になってしまいました。ところが急性期治療からリハビリ専門病院に移り医療スタッフの皆様が熱心に関わって下さり、どれほど心強く救われたか知りません。その後も地元の医療機関の外来リハビリに通院させていただき、現在ではよくここまで改善できたと感謝しております。介護保険が充実してきたとはいえ、疾病によっては継続的な医療でのリハビリも重症化防止の点では、大切な分野だと考えております。高齢者をひとまとめに考えるのではなく個々のケア（寝たきり老人の防止）特に、心のケアがとても重要だと考えます。意欲（目標）が無くなったら、身体機能の低下と共に認知症状も進行することは当然だと思います。そんな状態を少しでもくい止めるために、目的を持つことが大切かと日頃思っているところです。このたびはアンケート調査に参加させていただき、家族の思いをお伝えすることができて嬉しく思います。医療スタッフの皆様、今後とも、地域のためにご活躍いただきますようお願い申し上げます。
247	自分で動けるうちは介護保険を利用することは考えていない。自宅でも自分なりに運動はしているが、電気治療等は自宅にないため続けて通いたい。
248	期限に関係なく、週1回のリハビリを受けたい。リハビリを定期的にうけることで、現状が保っている。
249	院長様リハビリに携さられるスタッフの皆様（理学療法士、作業療法士）の積極的な介護に感動致しました。退院後も思い出しながら頑張りたいと思います。
250	大腿骨をおってリハビリ専門の病院で杖をついて歩けるまでに回復した。リハビリによって、長い間の膝と腰の痛みからも開放された。通院の出来るリハビリ専門の病院がないので再び歩けなくなるのではないかと心配だ。長い間整形の病院に通っている間に腰も曲がり、膝も変形して痛みも増して来た。どうかリハビリ専門の所に通えるようにと願う。
251	退院したところなので、まだどの方法がベターなのか分からない。体調・気力等を見ながら進めていきたい。
252	現状の状態が保てる様ここの病院を続けたい。永いおつき合いになると思う。介護保険を受ける年齢ではないので病院でリハビリを続けるしかない。
253	リハビリ期間を決めないで欲しい。
254	腰椎々間板ヘルニアにより左下肢マヒ、三年間のリハビリで補助具を着用平地は、歩ける様になったが階段、通路横断、公衆トイレ等を考えると、外出を控える。ドクターからは、まだまだ、リハビリの効果は期待出来ると言われたが、「150日の限定」を聞いた時、不安な気持ちになった。身体だけでなく心の方まで悪くなりそう。何とか国の力で限界までリハビリを続けられる様にして欲しいです。
255	一生懸命に治療に当って下さっているPTの先生についても感謝しております。明日に希望をもって毎日自宅の中や周辺で動かす努力をしておりますが、入院中は時間的にゆとりをもってリハビリに当って下さいましたが退院し、通院に替ってからはPTの方の時間に限りがあり思うようにリハビリが進みません。（例えば…1箇所診れば他の1箇所の時間が無）患者の状態に合ったリハビリ時間診療時間を設けて下さい。4箇所の骨折、腰骨のゆがみで、姿勢が正せず、階段昇降や坂道の上下り、乗物バスに乗れず早歩き、小走りも出来ません。物も少量を持つだけです。今回の改定後はたいへんです。高齢化社会に有る時にまだ何かが出来ると思っています。明るい見通しの持てる社会にたずさわられるようになるリハビリ期間を希望します。